

(注釈)

- ✓ 1人あたりの発表時間：発表12分（予鈴10分），質疑3分（+入れ替え1分）
- ✓ 各セッションの総合討論：15分（4課題のセッションは16分）
- ✓ セッション時間：5課題のセッションで95分，4課題のセッションで80分
- ✓ No.：セッション番号-会場番号-発表番号。（例）2-3-4は，第2セッション，第3会場，4番目の発表。
- ✓ 区分：
 - ①：農村計画学会論文集に採用された論文・報告（査読付）の発表（*は責任著者）
 - ②：農村計画学に関する学術的価値がある研究や事例・調査報告のうち未発表の内容の発表

(各セッションの開始～終了時刻)

- 第1セッション（5課題） 12/10（土）9時00分～10時35分
- 第2セッション（5課題） 12/10（土）10時50分～12時25分
- 第3セッション（5課題） 12/11（日）9時00分～10時35分
- 第4セッション（4課題） 12/11（日）10時50分～12時10分

(発表方法)

- ✓ 会場にはPC（Windows10，Powerpointをインストール済み）と，HDMIケーブル（Type A）を用意。
- ✓ 発表者は会場設置のPCを使用するか，持参したPC等からHDMIケーブルに接続して使用する。なお，HDMI端子が附属されていないPC等を持参する場合は，自身で変換アダプタ（USB Type C - HDMI Type A 等）を合わせて持参すること。HDMI接続が不安な人は，会場内の休憩室に同様のHDMIケーブルとモニタを用意するので，事前に試行しておくこと。
- ✓ 特別な事由がない限り，自身が発表するセッションの開始15分前までに各発表会場で受付を済ませること。

学術研究発表会に関する問い合わせ先：学術研究委員会（arp_academic@rural-planning.jp）

◆第1セッション：12/10（土）9時00分～10時35分

第1会場「防災・減災と新型コロナの影響」

コーディネーター：栗田 英治（農研機構）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
1-1-1	②	山田 由美	慶應義塾大学大学院	吉田 丈人，饗庭 正寛，黄 琬惠，一ノ瀬 友博	土地利用誘導による自然災害リスク軽減の効果推定	高リスクを避けた土地の選択でどれだけ被害を減らすまちづくりができるのか
1-1-2	②	市野瀬 愛	九州大学大学院	原田 佳生，佐藤 宣子，藤原 敬大，朝廣 和夫	平成29年九州北部豪雨被災集落で求められる教育活動	福岡県朝倉市平榎地区を事例に
1-1-3	②	伊藤 駿佑	明治大学	服部 俊宏	災害リスク地域指定が土地利用に及ぼす影響	岩手県を事例として

1-1-4	②	Md Lamiur Raihan	明治大学	服部 俊宏	Impact of COVID-19 Pandemic on Rural Communities	A systematic Literature Review and Bibliometric Analysis
1-1-5	②	狩野 夏穂	岩手大学（院連合）	藤崎 浩幸, 栞原 良樹	コロナ禍下における地域資源体験プログラム運営の工夫	宮城県くりはらツーリズムネットワークの事例

第2会場「地域づくりの方法と評価」

コーディネーター：中島 正裕（東京農工大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
1-2-1	②	安部 梨杏	神戸大学大学院	中塚 雅也	若手コーディネーターと住民の実践学習型地域づくりの方法	大分県竹田市明治地区の地域運営組織設立を事例として
1-2-2	②	齋藤 朱未	同志社女子大学		地域運営組織の活動継続に向けた要因分析	朝来市地域自治協議会を事例として
1-2-3	①	池上 大地	北海道大学	山本 忠男*, 井上 京	北海道の農村地域における地域活動の継続要因に関する考察	
1-2-4	②	時任 美乃理	京都大学大学院	浅野 悟史, 西前 出	Most Significant Change (MSC) を用いた地域協働活動の参加型・質的評価	
1-2-5	②	松本 卓也	徳島大学大学院	田口 太郎, 木下 咲月	中山間地域における官民協働による政策推進の持続性に関する研究	徳島県上勝町ゼロ・ウェイスト「再」宣言に着目して

第3会場「生物・環境への関与と配慮」

コーディネーター：原科 幸爾（岩手大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
1-3-1	②	久保田 彩水	愛媛大学大学院	武山 絵美, 行長 啓三, 小林 範之	ヌートリアによる農業用水路の利用・損壊現象と被害対策の実態解明	
1-3-2	②	大澤 啓志	日本大学		開花景観を用いた地域活性化活動実践地におけるフクジュソウの分布特性と生育法面植生	福島県喜多方市沼の平地区を事例に
1-3-3	②	長沼 知子	農研機構	遠藤 友彦, 平田 滋樹	獣害対策を担う捕獲従事者の特性と捕獲活動	3県の比較から見えたこと
1-3-4	①	齋藤 智美*	東京大学	吉田 知樹, 田嶋 結乃, 影山 舜, 橋本 禅	環境保全型農業が生産者と消費者の自然の関係価値に及ぼす影響	福井県池田町での「ゆうぎげんき正直農業」の取り組みを対象にして

◆第2セッション：12/10（土）10時50分～12時25分

第1会場「農村計画とデジタル技術」

コーディネーター：上野 裕士（内外エンジニアリング）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
2-1-1	②	王 冬潔	滋賀大学大学院	濱田 彩里, 田中 勝也	滋賀県における営農ビッグデータを活用したオーガニック農業の採択行動に関する分析	

2-1-2	②	山口 由美子	三重県熊野農林事務所	谷本 圭志, 森本 英嗣, 古根 川 竜夫	Society5.0に対する農村地域住民の期待と不安に関する分析	
2-1-3	②	栗田 英治	農研機構農村工学研究部門	篠原 健吾	圃場整備前後におけるドローンセンシングの活用の可能性	
2-1-4	②	岩崎 亘典	農研機構農業環境研究部門		クラウド最適化ファイルを用いた筆ポリゴン公開サイトの構築	
2-1-5	②	山本 朋佳	徳島大学大学院	田口 太郎	中山間地域小規模自治体における職員のDX推進に対する意識啓発に関する研究	広島県神石高原町を事例に

第2会場「農地の変容と農業者の対応」

コーディネーター：山本 忠男（北海道大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
2-2-1	②	中村 百花	明治大学大学院	服部 俊宏, 武山 絵美, 山下 良平	農地面積変化を中心とした臨海集落の特徴	愛媛県・長崎県を事例として
2-2-2	②	浅野 悟史	京都大学大学院	時任 美乃理, 西前 出	耕作放棄棚田への再湛水によって生物相はどう変化するか	農村の生物多様性の再生に向けて
2-2-3	②	毛利 泰大	酪農学園大学	福島 健司	水利境界が農家の通い作行動に与える影響	北海道北海土地改良区の事例
2-2-4	②	藤崎 浩幸	弘前大学		青森県弘前市の新市街地拡大型土地地区画整理事業における農業者対応	
2-2-5	②	鏡 平	信州大学大学院	内川 義行	農村地域住民向け市民農園における用地選定の経緯	長野県上伊那地域の8市町村を対象として

第3会場「農村移住の今日像」

コーディネーター：牧山 正男（茨城大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
2-3-1	②	川田 実央	徳島大学	田口 太郎	中山間地域における関係人口創出・拡大プロセスにおける道場の役割に関する研究	徳島県那賀町木頭「木頭錬心館」を事例に
2-3-2	②	古谷 若葉	徳島大学	田口 太郎	地域密着型ゲストハウスのヘルパースタッフを経た移住の意義に関する研究	長崎県壱岐市、みなとやゲストハウスにおけるヘルパースタッフを事例に
2-3-3	②	内野 僚太	東京農工大学大学院	中島 正裕	田園回帰の進展に応じた地域外からの人材のマネジメントに関する実践的課題の研究	計画論的視点からの田園回帰研究のレビューを通して
2-3-4	②	伊藤 将人	一橋大学大学院		戦後日本における都市から農村への「移住者」像の歴史的変遷	『食料・農業・農村白書(農業白書)』の移住言説に着目して
2-3-5	②	高橋 貴生	長岡技術科学大学	成田 光裕, 佐野 可寸志	空き家所有者への各種情報提供による空き家提供意向の変化に関する研究	新潟県長岡市を対象として

◆第3セッション：12/11（日）9時00分～10時35分

第1会場「農村への認識と農村観光」

コーディネーター：西前出（京都大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
3-1-1	②	大島 環	東光園緑化株式会社	八木 信行	日本人の自然環境に対する認識と価値観	アンケート調査のテキストマイニング分析の結果を用いて
3-1-2	②	佐藤 彩生	株式会社農林中金総合研究所		温泉地連携型農泊の現状と特徴	岐阜県中津川市加子母地区と宮城県仙台市秋保地区を対象に
3-1-3	②	城本 高輝	長崎国際大学		雲仙市のワーケーションおよびモビリティについての研究	島原半島ユネスコ世界ジオパークの学術的価値向上を目指して
3-1-4	①	范 潔*	龍谷大学		中国農村貧困地域における農家の観光業参入による増収効果	河南省旅遊扶貧重点村農家調査による実証
3-1-5	②	Do Tuan Minh	University of the Ryukyus	Bixia Chen	Impacts of homestay tourism on the sustainability of rural society	A case study of Sapa township, Laocai province, Vietnam

第2会場「農村における主体間の連携」

コーディネーター：井上 果子（宮崎大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
3-2-1	②	柴崎 浩平	兵庫県立大学	中塚 雅也, 木原 奈穂子, 内平 隆之	都市住民主体の草刈りグループの結成手法と展開課題	兵庫県東播磨地域におけるアクションリサーチ
3-2-2	②	新里 早映	東京農工大学（院連合）	中島 正裕	地域と学校の協働が住民の地域づくり意欲に及ぼす影響の検討	長野県上伊那郡Y高校における実践支援から
3-2-3	①	児玉 剛史*	東洋大学	加藤 弘二	木の駅プロジェクトにおける出荷主体の行動に関する分析	
3-2-4	②	後藤 紫穂子	鳴門教育大学大学院	田口 太郎	中山間地域における高等学校と地域社会の連携活動の意義	高知県立嶺北高等学校の地域連携活動を事例に
3-2-5	②	助野 理音奈	徳島大学大学院	田口 太郎	現代アートを介した住民と移住者の協働の発達プロセスに関する研究	直島を事例として

第3会場「バイオマス・地域資源の利活用」

コーディネーター：本田恭子（岡山大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
3-3-1	①	野津 喬*	早稲田大学		農業分野における太陽光発電の自家利用に関する分析	
3-3-2	①	豊嶋 尚子*	京都大学		小水力発電の導入に向けた民間企業と地域の関係構築のプロセス	
3-3-3	②	栗原 良樹	山形大学	高橋 武	営農型太陽光発電施設の設置に対する受容態度の形成要因	
3-3-4	②	森本 英嗣	三重大学	山下 良平	中山間地域等直接支払制度を活用した「新林地」に関する初期調査	
3-3-5	②	佐々木 萌	岩手大学大学院	原科 幸爾	地域住民による森林管理の多様性を踏まえた木質バイオマス利用の	岩手県紫波町の事例

◆第4セッション：12/11（日）10時50分～12時10分

第1会場「農村の現代像とその分析」

コーディネーター：松下 京平（滋賀大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
4-1-1	①	能美 誠*	鳥取大学		個体間類似性の連結グラフ表示法の提示と農業部門構成の地区間類似性分析への適用	
4-1-2	②	中野 美季	明治大学		イタリア農業の多機能化	法制化による農業定義の拡大
4-1-3	①	吉田 真悟*	農林水産政策研究	八木 洋憲	都市農業経営による生産緑地の貸借条件と利用実態	
4-1-4	②	宮田 真由	秋田県立大学大学院	岡田 直樹	内発的農村発展を支える経済メカニズム	秋田県のGBビジネス事業を対象に

第2会場「集落活動と住民参加」

コーディネーター：山下 良平（石川県立大学）

No.	区分	発表者名	発表者所属	共著者	主題	副題
4-2-1	②	若菜 千穂	特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター	広田 純一	中山間地域等直接支払制度を活用した集落機能強化の実態と課題	岩手県西和賀町を事例として
4-2-2	②	石井 樹	東京農工大学大学院	田島 玲, 森口 佐和子, 中島 正裕	農村地域の集落活動の継承に向けた実践的課題の抽出と大学の支援のあり方	慣習から“伝統のつくりかえ”への継承の転換プロセスに着目して
4-2-3	②	新田 将之	東洋大学		住民が策定した集落計画書のテキスト分析による住民主導型地域計画マネジメントの課題	
4-2-4	②	谷 彩花	明治大学大学院	服部 俊宏	他出子弟による地域活動への参加意向と次世代への継承の可能性	周南市大潮地区・渋川地区を事例として